

大震災から、年が替わろうと…

当 HP の新年の挨拶記事内に、【大震災で被災された方々や原発事故で避難されている方々にどう語りかけていいのか、正直、まだ言葉を見つけかねています。

「愛は行為でない。心の態度である。」という言葉がありますので、被災された方々や避難されている方々のことを決して忘れずに、今年もせめて心の内で寄り添い続けさせていただければと思っています。】と追伸したところ、「心の態度」をお聞かせくださる次に類するようなコメントメール（抜粋）をいくつかいただいた。

・ 昨年は大変な年でしたね。

「愛は行為でない。心の態度である」という言葉を頂いて、本当にその通りだと、深く納得し、自分の心に落ち着きました。

有難うございました。

・ 自分にとって、宮城、仙台は第2の故郷だと思っています。

そう思っていながらも、仙台に暮らす方々へどのように声をかけて良いかがわからない自分がいます。

大震災があったことを決して忘れずに、宮城県、仙台市で暮らす、あるいは故郷である友人・知人・恩人に接していきたいと思います。

日々の仕事に精進することが仙台への恩返しだと信じて、しっかりと自分の仕事をしていこうと思います。

・ ネットで、土葬されるおびただしい数の棺を見たときにはとてもショックでした。

その場にいた方々の気持ちは想像できないほどのものがあったと思います。

震災のことは、まだまだ知らないことが多く、本当に忘れてはいけないし、真実を知らなければならぬと思います。

・ 私は田舎（福島県）に帰り、同級生と会い、昨夜遅くに帰宅しました。

福島の友人は放射能と戦いながら生活していましたが、みんな元気でこちらにも勇気をもって帰ってきました。

また地震で使えなくなった小学校の母校を取り壊し前に、昨日見てきました。

懐かしい思いと、母校がなくなるさみしさを感じました。